

令和3年10月1日付山陰中央新報

## 遊覧船は魅力的

【松江】松江市観光の呼び物・堀川遊覧船の魅力を発信する島根県立大のサークル「みんなの堀川委員会」のメンバーがこのほど市役所に上定昭仁市長を訪ね、これまでの活動や遊覧船への思いを語った。写真。

委員会は2015年に結成。市内の大学生の多くを占める県外出身者に、松江の歴史や自然を知るきっかけ



けにしてもらおうと情報発信している。現在、メンバーは10人。画像共有アプリ

・インスタグラムで遊覧船から見た風景を投稿したり、周辺の観光スポットを紹介するパンフレットを作ったりして配って県立大の新生に配ったりしてきた。来夏には浴衣を着て遊覧船や松江歴史館などを楽しむツアーを予定する。

上定市長とは県立大人間文化学部4年の柏木あゆみさん（22）たち5人が面会。静岡県富士宮市出身の柏木さんは「船が橋の下をくぐる瞬間や、季節ごとの景色の変化は若い人にも魅力的だと考えている」と話した。

上定市長は「皆さんの力をお借りして全国に松江をPRしたい」と述べた。

（佐貫公哉）

## 学生目線で 竹島問題解説

県資料室、毎週土曜

島根県竹島資料室（松江市殿町）で2日、県立大人間文化学部の学生による解説が始まった。資料室が委嘱した学生解説員として、竹島（島根県隠岐の島町）を巡る問題に理解を深めながら、学生目線で分かりやすく来場者に伝える。土曜午後1〜5時に活動する。



報道機関向けに竹島問題について解説する島根県立大の学生。松江市殿町、竹島資料室

学生は2年の景山翔那さん(20)といずれも1年の綱井亘さん(19)、坪井慶太さん(18)、春山璃桜さん(18)の4人。島根県飯南町出身の景山さんは中学校教員を目指しているといい「竹島のことを深く知り、生徒にも学ぶ機会を与えられるようになりたい」と手を挙げたという。

初日は、報道機関向けに解説を行った。資料室の竹島問題入門編のパネルスライドとシナリオを使って解説を行い、「困っていることは漁業が自由にできないこと」などとひとまとめた。

解説を終えた坪井さんは「国の問題だと縁遠く考えている人も多い。若い世代にも伝え、全世代で考える機会になればうれしい」と話した。

竹島資料室は午前9時〜午後5時開室。火曜と年末年始定休。入室無料で学生による解説も無料で予約不要。  
（古瀬弘治）



# 松江ゴーストツアー

## 県立大4学生ガイド

### 養成講座を経て10、30日

小泉八雲の怪談の世界を日没後に体感する「松江ゴーストツアー」に10月、県立大学の学生が2日間限定で、語り部ガイドとして登場する。10、30日と両日ともに定員に達し、前評判は

る。

サミットの問い合わせは市観光交流課、電話0855(25)9531。参加の問い合わせは石王観光、電話0855(22)2222。

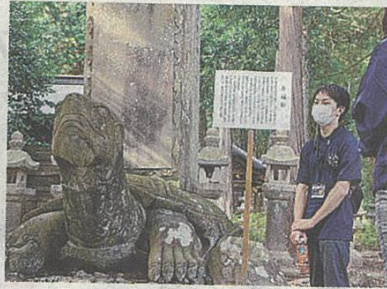
(宮廻裕樹)

集している。

一般社団法人イワミノチカラ(江津市)などで行く実行委員会が2013年から毎年1〜2回開催しており、14回目の今回は11月28日まで、計64プログラムを展開する。

県内では、SDGs(持続可能な開発目標)推進の一環で、耐久性がある石州和紙で再利用可能なマスク

高い。学生ガイドはよい経験にしたい、と意気込んで



9月の研修で怪談「夜歩く大亀」を語る学生ガイドの山下健太さん(左)と松江市外中原町、月照寺

プログラムを実施する。

イワミノチカラの伊藤康丈代表理事は「コロナの感染対策をしっかりと行い、多くの人に石見の魅力を体感してほしい」と話した。参加申し込みは、専用サイト(アドレス<https://iwaminochikara.jp>)か、電話0855(52)7214で受け付ける。

(福新大雄)

2008年に始まった同ツアーは松江観光協会が主催。松江しんじ湖温泉駅を出発し、「人食い大亀」の伝承がある月照寺や芸者の幽霊で知られる清光院を、語り部の案内で2時間かけて徒歩で巡る。

学生ガイドは、小泉八雲のひ孫で県立大名誉教授の小泉凡さん(60)が、米国ニューヨークリンズのゴーストツアーで学生ガイドが活躍していることを知り、提案。小泉名誉教授の「地域文化論」(小泉八雲)などを履修した学生4人が手を挙げた。

4人は、同協会の語り部養成講座を受講し、研修を重ねている。小泉八雲の雑

マンガで親しむ  
出雲神話①  
**スサノオ**  
本のご注文は  
0852-32-3420  
定価/本体1,143円+税

学をクイズ形式で提供する計画を立てるなどツアー内容の改良にも余念がない。

本番を前に実地研修した、3年の山下健太さん(21)は「読み聞かせや妖怪など、授業での学びを生かしたい」と意気込んでいる。

(増田枝里子)